

まちづくりの目標	2	みんなが安全で快適に暮らせるまち	
政策	1	都市基盤を整備し、安全で安心して暮らせるまちにします	
施策	4	道路が安全で移動しやすいまちにします	担当部(統括部) 土木下水道部

【実現している姿】

目標	交通アクセスが良くなり、移動の利便性が向上しています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	誰もが安心して快適に歩道を通行できるようになっています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
都市計画道路の整備率	目標	—	—	—	62.7%	62.7%	62.7%	63.8%	68.1%	68.1%	68.1%
	実績	65.5%	62.7%	62.7%	62.7%	62.7%					
歩道段差切り下げ解消箇所の改良率	目標	—	—	—	74.0%	75.0%	76.20%	76.50%	77%	78%	79%
	実績	72.7%	73.2%	73.8%	74.8%	75.4%					
交通バリアフリー道路特定事業計画に基づく歩道整備の進捗率	目標	—	—	—	50.0%	57.0%	80%	80%	80%	80%	80%
	実績	43.0%	43.0%	47.0%	53.0%	73.0%					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎鉄道による交通渋滞の解消							平成26年度事業費計 14,368千円
阪急京都線連続立体交差により踏切の交通渋滞を解消し、市域の交通アクセスの改善をめざします。							
平成26年度事業 ◎阪急京都線連続立体交差事業14,368千円(都市計画課)							
		第4期実施計画期間					後期終了年度
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	連立事業基本調査結果を踏まえ、事業化に向けた関係機関との協議、調整	着工準備期間に入り、実施測量・比較設計・詳細設計等の実施、関係機関との協議	着工準備期間内での連立事業、関連側道等都市計画素案の検討、関係機関との協議	着工準備期間内での連立事業、関連側道等の都市計画案の作成、事業認可取得に向けた関係機関との協議	連立事業、関連側道等の都市計画手続き、事業認可取得に向けた関係機関との協議	事業認可の取得後、用地買収の実施	
取組実績	連続立体交差事業の事業化に向けて、国や大阪府など関係機関との協議、調整を実施し、国や大阪府の連続立体交差事業に対する動向を踏まえて、市としての対応を図った。						
成果	大阪府建設事業評価審議会にて実施方針が承認され、大阪府において社会資本総合整備計画に位置付けられた。						
次年度課題	今後、事業化に向け、国や大阪府など関係機関との協議・調整に加え、沿線自治会など地元との協議、調整を実施していく必要がある。						
計画	—	地元説明会の実施、沿線自治会等関連まちづくりに関する市民協働の実施	地元説明会の実施、沿線自治会等関連まちづくりに関する市民協働の実施	地元説明会の実施	—		
取組実績							
成果							
次年度課題							

○道路ネットワークの再構築と整備						平成26年度事業費計
						169,368千円
阪急京都線連続立体交差と併せて整備する側道や関連街路について、交通ネットワークを再構築し、地域の利便性や安全・安心の向上など、まちの発展につなげます。						
平成26年度事業	◇千里丘三島線道路改良事業155,000千円(道路交通課) ◇阪急京都線連続立体交差事業14,368千円(都市計画課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの西側歩道の整備	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの東側歩道を整備するため、用地取得に向けての課題検討	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの東側歩道を整備するための用地取得	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの東側歩道を整備するための用地取得	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの東側歩道を整備するための用地取得	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの両側歩道の整備完了
取組実績	今までに取得した用地を使用して歩道整備を実施した。					
成果	西側歩道の整備が完了した。					
次年度課題	整備の推進に努める。					
計画	交通ネットワーク、周辺まちづくりの問題点の解消策の整理、検討	交通ネットワーク、周辺まちづくり計画の作成、関係機関と協議	交通ネットワーク、周辺まちづくり計画の実施に向けた検証、関係機関と協議	連立事業、関連側道、都市計画道路等の都市計画手続	関連側道等の都市計画手続き	事業認可の取得後、用地買収の実施
取組実績	連続立体交差事業の事業化に向けて、国や大阪府など関係機関との協議、調整を実施し、国や大阪府の連続立体交差事業に対する動向を踏まえて、市としての対応を図った。					
成果	大阪府建設事業評価審議会にて実施方針が承認され、大阪府において社会資本総合整備計画に位置付けられた。					
次年度課題	今後、事業化に向け、国や大阪府など関係機関との協議・調整を進めていくことに加え、沿線自治会など地元の見解等を聞きながら、連続立体交差事業に関連した周辺のまちづくりや関連する交通ネットワークの課題等について、検証していくことが必要である。					
計画	—	地元説明会の実施、沿線自治会等関連まちづくりに関する市民協働の実施	地元説明会の実施、沿線自治会等関連まちづくりに関する市民協働の実施	地元説明会の実施	—	
取組実績						
成果						
次年度課題						
◎快適な生活道路の整備						平成26年度事業費計
						345,665千円
計画的に生活道路を整備するとともに、バリアフリー化に向けて改良を実施します。また、徒歩や自転車で移動しやすい道路ネットワークの整備に取り組みます。						
平成26年度事業	★市内側溝改修事業10,000千円・★転落防止安全柵設置事業5,000千円・★道路補修事業250,000千円・★街路灯修繕事業6,000千円・☆自転車歩行者道路修繕事業10,336千円(道路管理課) ◇交通バリアフリー整備事業5,000千円・◇正雀南千里丘線外2路線(阪急正雀駅前)道路改良事業10,000千円(道路交通課) ◇新在家鳥飼上線道路整備事業49,329千円(都市計画課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施
取組実績	歩道未整備路線の路肩部に塗装を施し、歩車分離を延長約260m実施した。					
成果	歩行者等の通行の安心・安全を図るため、歩車分離に努めた。					
次年度課題	整備、解消に努める。					

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	—	—	—	交通バリアフリー道路特定事業計画の進捗状況の評価、見直し	—	
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画	新在家鳥飼上線の歩道を設置するための不動産鑑定評価等の実施	新在家鳥飼上線の歩道を設置するための用地取得	新在家鳥飼上線の歩道を設置するための用地取得	新在家鳥飼上線の歩道設置の工事実施	—	
取組実績	新在家鳥飼上線道路整備事業において、事業用地確保の円滑化のため、沿道土地所有者など関係権利者および関係機関等と協議・調整を図った。					
成果	沿道関係権利者と協議を行い、事業用地取得に向けた交渉を行った。また、用地交渉に向けて不動産鑑定評価等の取組みを行った。					
次年度課題	沿道土地所有者など関係権利者等との協議、交渉を鋭意進めていくとともに、円滑な道路整備に向けて関係機関と協議、調整を進めていくことが必要である。					
計画	千里丘東51号線の一部区間整備工事	—	—	—	—	
取組実績	沿道土地所有者との調整を図り、延長約27mのL型側溝の整備を行った。					
成果	L型側溝の整備により、道路の有効幅員をより広く確保することができた。					
次年度課題	当該区間の整備については平成24年度で完了。					
計画	阪急正雀駅南口エレベーター前歩道の一部暫定整備	阪急正雀駅前の歩道整備を実施するための用地取得	阪急正雀駅前の歩道整備を実施するための用地取得ならびに歩道の一部暫定整備	阪急正雀駅前の歩道整備を実施するための用地取得	阪急正雀駅前の歩道整備を実施するための用地取得	正雀南千里丘線外2路線の歩道整備完了
取組実績	一部取得した用地を使用して歩道を延長約32m、幅員3.5m暫定整備を実施した。					
成果	歩行者及び自転車等の通行の安全性を図れた。					
次年度課題	目標達成のための用地取得等を継続する。					
計画	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施
取組実績	道路排水機能を確保するための側溝整備にあたっては、通行幅員をより広く確保できるL型側溝を原則的に設置しており、平成24年度は、新在家地区(新在家8号線)でL型側溝32.2mの整備を行った。					
成果	L型側溝を設置することにより、道路排水機能を確保するとともに、通行者の安全確保をすることができた。					
次年度課題	近年のゲリラ豪雨に対し、側溝及び雨水樹の構造について十分な検討を行い工事を行っていく。					

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施
取組実績	道路とその周辺の土地で段差のある場所で、通行者が転落の危険性のある所について転落防止柵を設置しており、平成24年度においては千里丘地区(千里丘27号線)の水路と隣接する部分で転落防止柵42.9mを設置した。					
成果	転落防止柵を設置することにより、より安心して道路を通行することができるようになった。					
次年度課題	自転車歩行者道路で舗装の老朽化が進んでおり、計画的に補修を行っていく必要がある。					
計画	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施
取組実績	市内の道路で、舗装が老朽化によりひび割れやわだち等が発生し、車両等の通行に支障をきたしている箇所においては、舗装打替え等の補修工事を行っており、平成24年度は、市内一円(新在家鳥飼上線外19路線)で延長約2.8km、面積約16031㎡の舗装の補修を行った。					
成果	舗装の補修により、車両等が安全かつ円滑に通行できるようになった。					
次年度課題	舗装の老朽化によりひび割れやわだちが増加しており、補修の必要な箇所が増えている。また、街路灯の支柱及び灯具についても老朽化が進んでおり、LED化も視野に入れて計画的に補修を行う必要が生じている。					
計画	街路灯補修工事の実施	街路灯補修工事及び街路灯点検の実施	街路灯補修工事の実施	街路灯補修工事の実施	街路灯補修工事の実施	街路灯補修工事の実施
取組実績	職員の点検により街路灯の老朽化が見つかり、一部は緊急修繕をおこなった。					
成果	緊急修繕を受けて、平成25年度より新規事業として点検、補修工事を実施することになった。					
次年度課題	街路灯の点検を受けて補修計画を策定する。					
計画	自転車歩行者道路補修工事の計画策定	自転車歩行者道路補修工事の実施	自転車歩行者道路補修工事の実施	自転車歩行者道路補修工事の実施	自転車歩行者道路補修工事の実施	自転車歩行者道路補修工事の実施
取組実績	職員により、自転車歩行者道路の現状を調査した。					
成果	調査の結果、補修が必要となり、平成25年度より修繕実施することになった。					
次年度課題	補修計画を策定する必要がある。					

○橋りょうの改築						平成26年度事業費計 58,000千円
老朽化が著しい橋りょうについて耐性・強度を高めるため、長寿命化に向けた改築を行います。						
平成26年度事業 ☆橋梁長寿命化修繕事業58,000千円(道路管理課)						
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	橋りょう長寿命化修繕計画の策定	策定計画の検証に基づき、橋りょう修繕設計及び修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施
取組実績	防災計画上の緊急交通路及び避難路等の路線を中心とした国庫補助対象となる橋りょうの長寿命化修繕計画の策定を行った。					
成果	橋りょう長寿命化修繕計画が策定できたことにより、国庫補助を受けながら計画的に長寿命化を図ることができる。					
次年度課題	橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、実施計画を進めていく必要がある。					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	—	—	橋梁保守点検	—	—	—
取組実績						
成果						
次年度課題						

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

市域の特徴を生かした道路整備						平成26年度事業費計 213,000千円
平坦でコンパクトな市域の特徴を生かして、徒歩や自転車での移動がしやすい道路ネットワークの整備を進めます。また、河川・水路が多いことから、橋りょうの安全性を高めます。						
平成26年度事業 ◇千里丘三島線道路改良事業155,000千円(道路交通課) ☆橋梁長寿命化修繕事業58,000千円(道路管理課)						
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	千里丘三島線道路改良事業等により道路ネットワークの整備促進を図り、通行の安全性と利便性を向上	千里丘三島線道路改良事業等により道路ネットワークの整備促進を図り、通行の安全性と利便性を向上	千里丘三島線道路改良事業等により道路ネットワークの整備促進を図り、通行の安全性と利便性を向上	千里丘三島線道路改良事業等により道路ネットワークの整備促進を図り、通行の安全性と利便性を向上	通行の安全性と利便性について、評価、検証	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの両側歩道の整備完了
取組実績	千里丘三島線西側の歩道を延長約165m、幅員4.5m整備を実施した。					
成果	歩行者及び自転車等の通行の安全性が飛躍的に向上した。					
次年度課題	東側の整備に向けて努める。					
計画	橋りょう長寿命化修繕計画の策定	策定計画の検証に基づき、橋りょう修繕設計及び修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施
取組実績	防災計画上の緊急交通路及び避難路等の路線を中心とした国庫補助対象となる橋りょうの長寿命化修繕計画の策定を行った。					
成果	橋りょう長寿命化修繕計画が策定できたことにより、国庫補助を受けながら計画的に長寿命化を図ることができる。					
次年度課題	橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、実施計画を進めていく必要がある。					